

センニチコウ 編 その2

センニチコウは漢字で「千日紅」と書くように、**長く咲く紅い花**として年間を通して出回っています。最近では、ドライにして楽しむ方も多いようですが、アレンジや仏花などにも大活躍な花なので「日持ち」も気になるところです。そこで！今回、グロボーサ系の4品種（4色）を用いて日持ち試験を行いました！

！試験結果！

栄養剤を使用して試験を行いました。

センニチコウの主な試験終了理由は**花首の萎れ、ベントネック**ですが、**試験開始から2週間経過**しても、花首の萎れやベントネックの発生はありませんでした。

また、生け水が水での試験では、1週間の日持ち（終了理由：花首の萎れ、激しい葉の萎れ）でしたので今回の試験においては**後処理剤の効果**が大きい結果となりました。



【試験環境】温度：24℃±1 湿度：約70%

名前の通り、長く楽しめることのできる「**センニチコウ**」
1年中出回っていますが、出荷のピークは9月～10月の今です！
ぜひ！日持ちする花として、花の形を活かしたアレンジなどでお楽しみください♪

